国保加入の方、ご意見をください。

2022年 3/27 版

日本共産党　目黒区議会議員

こんにちは

お芋の「芋」に3本「川」
100%「ゆうき」

83号

芋川（いもかわ） ゆうき 区政報告

住所：目黒区南3丁目在住　TEL：090-4206-2048
お問い合わせ✉＜imokawa007@gmail.com＞

芋川ゆうきブログ

高すぎる国民健康保険料、また値上がり。

物価上昇が区民を直撃する下、これでは医療機会が奪われかねない

平均を表す一人あたり保険料は年間4，143円の値上がり、40歳からの介護納付金分と合わせて年額19万4，953円。

国民健康保険は自営業者やフリーランスなどの人が加入をします。また、退職や失業をした方などの一部の人は、健康保険組合などを脱退し、国民健康保険に加入することになります。その後、７５歳になると後期高齢者医療保険制度になります。目黒区においての国民健康保険制度は年々加入者が減っています。また、現役世代の加入率も減っている状況で、加入者から徴収する保険料が、他健康保険制度と比べて高くなることや、赤ちゃんから保険料がかかる均等割りがあります。

国はこうした構造的な問題に対して抜本的な対策をとっていません。そのため、目黒区においても他自治体同様、年々保険料が上がっています。これでは、保険料を支払うことが精一杯となり、実際の医療機会が奪われかねません。

来年度、国は子育て支援として未就学児の均等割保険料を半額にするとしているが

国は来年度から子育て政策として均等割り保険料を半額にします。しかし、対象は未就学の子どものみです。結局、それ以降は満額支払わなければなりません。子育て政策としてしっかりと位置づけするのであれば、対象者と年齢の拡充をしなければなりません。

モデルケースによる試算では4人家族で保険料は年収の1割以上

今回示された目黒区における来年度の保険料は、平均一人当たりとして、基礎分と後期高齢者支援金分として年間１５万２，９５３円になります。これは健康保険組合などの労使折半ではありませんから、全額自己負担です。そして、４０歳からは介護納付金分が加わり（来年度は年間４２，０００円）合わせて、年間１９万４，９５３円となります。試算ではモデルケースもあり、年収４００万円の４人家族（未就学児の子２人）では年額４６万円を超え、子どもが就学すると均等割りが満額となり年額は５０万円以上になります。

高すぎる保険料のため、直近の滞納世帯は７，４００世帯を超え、１３．２％です。また期限が短い短期保険証は１０５１人、窓口１０割負担の資格証明書は２４６人です。

区内国保加入者は5万人以上目黒区の国保料を決める国保運営協議会の運営について意見を提出しました。

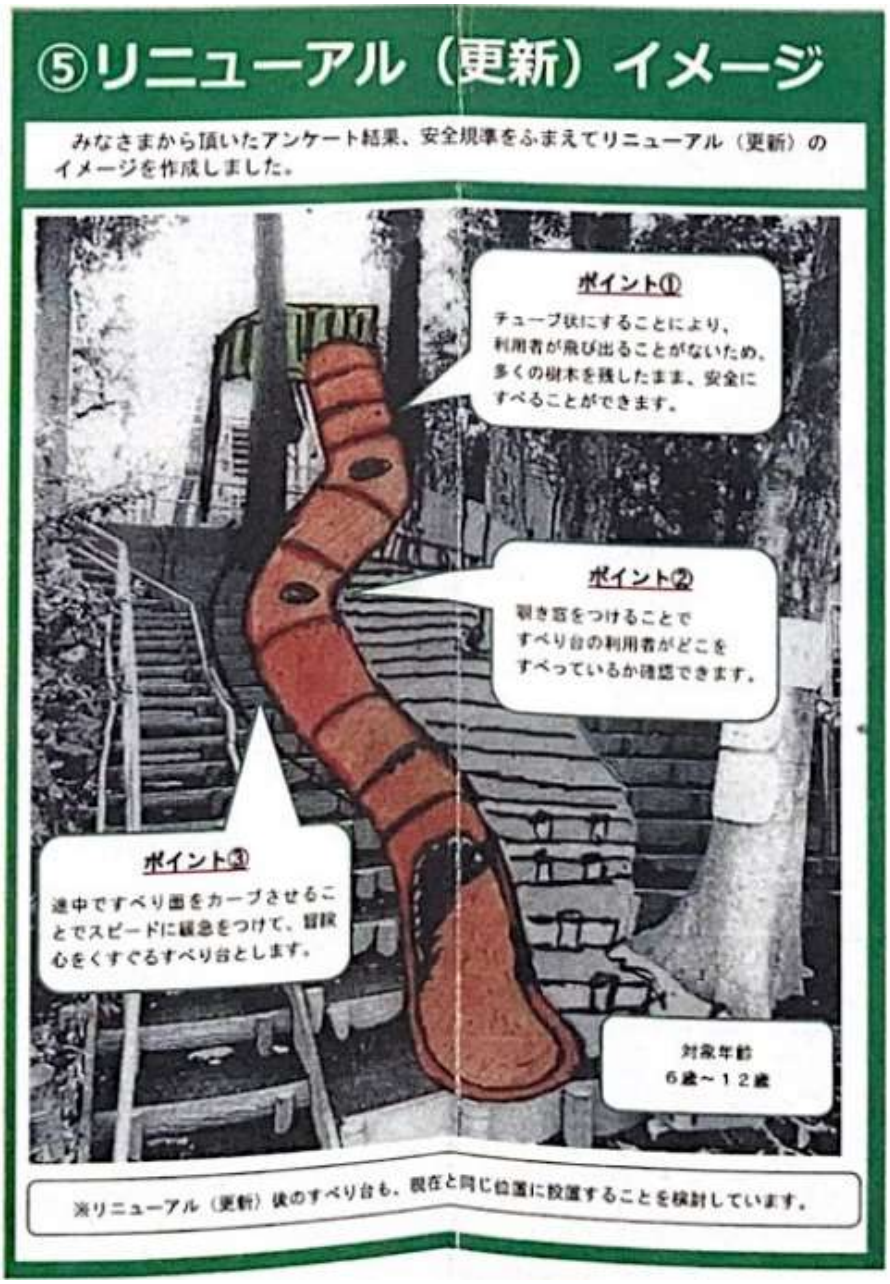
私は目黒区の保険料を決めていく、３月上旬の協議会に出席しました。しかし、その際、会長の運営は、医師の先生方（委員）は忙しく、会を早く終わらせたい。などの発言や、私の質疑を会長権限で途中で終了させるなど行いました。区民の保険料を決めていく大事な会です。許されるわけがありません。（上段QRコード、HPで公開済み）

中根公園のすべり台を残してほしい・・・
区民の願いが「区」を動かし、リニューアルを予定しています。

中根公園は目黒区の数少ない広い公園です。生い茂る木々、夏にはじゃぶじゃぶ池も楽しめます。その中根公園の顔ともいえる、子どもたちに大人気の長いすべり台が在ります。平成６年に作られたこのすべり台はスリルもあって、長年子どもたちに大人気の遊具でした。

しかし、２０２０年の下旬にすべり台で遊ぶ子どもが骨折をする大きな事故が続けて２件おきました。区は調査のため、すべり台を封鎖しました。

区は当初、安全性の観点からすべり台は「撤去」の考えを示唆しました。その後、現状すべり台の安全性の検証、近隣小学校児童などへのアンケートを行いました。その経過の中で区民からすべり台存続の声が多数あることを受け止めて、現在の安全基準に照らした更新を検討し、リニューアル案含めて、地域への説明会や意見を募集しました。今後は「チューブ型」が検討されています。まだ先ですが、完成が楽しみです。



1・なんでも相談 ■4月日程 場所・芋川ゆうき（星見てい子）事務所

※なんでも相談（直接お越しください） 住所：原町２－２２－１２

4月5・19・26（火）午後7時～ ※1日は予定になります

※無料法律相談 対面相談のみ 4月12日 午後7時～

2・区議団無料法律相談 場所：目黒区役所5階の共産党控室

※4月21日（金）予定 午後2時～ 要TEL：090-4206-2048（芋川）